

桜井よしのりの決意

「地域から学校が消える」という小中学校の統廃合問題で、私はこれまで「阿蘇・米本の地域と学校を考える会」の代表として、市長や教育長と何度も話し合いました。そこで感じたことは「今の八千代市の行政は市民の声をまるで聞いてくれない」ということでした。その大きな理由は、市政のリーダーであるはずの市長が前例の継続に留まり、市民ニーズに応えるためのリーダーシップを発揮できなかったことにあります。

私は東京都や墨田区で長く福祉行政のプロとして携わってきました。教育と福祉行政の向上こそが「誰もが安心して住める街」として成長させることができると確信しています。「市民参加と福祉の八千代」といわれる行政を実現するために先頭に立つ決意です。



桜井よしのり・当面する8つの約束

1 市長報酬を50%カットします

八千代市長の1期4年間の平均年収は約1,700万円。1期4年間の市長報酬50%を完全カットして市民サービス事業の原資に活用します。

2 新型コロナ対策を拡充します

新型コロナウイルスに対する無料PCR検査の実施、入院受け入れなどの市民の健康管理支援失業や収入減などの生活困窮支援、売り上げ減に苦しむ中小企業・個人事業者への経営支援を拡充します。

3 公共施設の24%削減計画に反対します

公共施設の24%削減を目的とし、小・中学校も22校を7校に削減を計画している「公共施設等個別施設計画」は反対です。少年自然の家は存続します。市庁舎建て替え計画は白紙にして7割の経費削減ができる緊急防災減災事業債を活用して耐震化・大規模改修を推進します。

4 子育て支援を拡充します

待機児をゼロにします。ひとり親家庭支援の拡充をします。高卒までの医療費を窓口無料にします。1クラス20人～30人の少人数教育を実施し、学校給食は自校方式にして給食費を無料にします。

5 国民健康保険料や介護保険料を値下げします

八千代市の国民健康保険料は県内でも高額です。また、介護保険料は前期に続き5,220円値上げの62,160円となり、市民の負担は増えています。基金の活用や一般会計からの繰り入れで値下げを実施して国保や介護保険料の値下げを実現します。

6 交通弱者の足を守る施策を推進します

1回500円の高齢者や障害者等タクシー利用助成を1000円にします。市民の足を守るためにミニバスを全地域で運行させます。東葉高速の運賃値下げ問題については、国に長期債務の負担軽減、利払いの軽減を要求。運賃値下げと京成線並みの定期券学割率をめざします。

7 豊かな財政力を生かし暮らし・福祉を優先します

八千代市の財政力は、県内で上から7番目です。しかし、過去のハコモノ・開発優先政策で市債残高512億円。近隣市と比較すると市民1人当たりの負担額は高くなっています。豊かな財政力を生かして、暮らし・福祉を優先します。

8 農業、商業、産業の振興を活性化します

再生可能な自然エネルギーを推進。地産地消、食の安全を重視し、生産者と消費者との共同で農業を振興、産業振興基本条例を制定します。空き店舗の借り上げなどへの補助制度を設け、商店街の活性化を促進します。